



## 京都大学サイエンスフェスティバル2018で総長賞(1位)受賞!

3/16(土)に京都大学吉田キャンパスで京都大学サイエンスフェスティバル2018が開催されました。和歌山県代表として本校環境科学科2年生2名で参加しました。「南海トラフ巨大地震における通信インフラの迅速な復旧について」という課題研究を15分間プレゼンテーションで発表しました。1年間の集大成として臨み、自分たちの持てる力を出し切りました。結果は、最も良い賞である“総長賞”を頂きました。課題研究の中で、たくさんの学びや気づきがあり、改善をくり返しながら1年間行ってきた事が形として表れたことは素直に嬉しいことです。生徒たちも感無量でした。



## 第15回日本物理学会 Jr.セッションで審査委員特別賞受賞!!



3/17(日)に九州大学工学部で第15回日本物理学会が開催され、その中の中高生がポスターセッションを行う“Jr.セッション”に参加してきました。本校からSS探究科学Ⅱ物理ゼミ缶サット班の“南海トラフ巨大地震を想定した通信インフラの迅速な復旧”とKECReⅡ物理ゼミマグナス班の“マグナス効果がよく働く条件”の2テーマが書類審査を通過し、ポスターセッションしました。結果は、缶サット班の研究が“審査委員特別賞”を受賞しました。大学の先生方からの厳しい指摘や自分たちの研究を面白くと言って頂けたり、生徒たちは“楽しかった。非常に学ぶことが多く、勉強になりました。”と感想を述べていました。この経験を将来活かしてくれることを期待しています。また、日本物理学会HPに本校生徒の画像も掲載されていますので、ご覧下さい!



## 第8回科学の甲子園全国大会に県代表として出場してきました

3/15(金)~18(月)にソニックシティとサイデン化学アリーナ(さいたま市記念総合体育館)で行われる「第8回科学の甲子園全国大会」へ県代表(初出場)として参加してきました。筆記競技と実技競技①~③の合計得点で競います。本校の結果は、47都道府県中34位でした。初出場で、勝手がわからない中、自分たちの持てる力を出して、全力で戦ってくれたと思います。また、全国には凄い高校生がいるという事を改めて知る機会となり、本校から参加した生徒は多くの刺激を受けてくれました。この経験は次に繋がると思います。参加した生徒の今後にも期待しています。

